

はちまんたい

2008.8.7
No.66



今月の表紙

田山地区の各集落にある神社の祭典は7月19、20の両日、各神社などで行われました。田山・折壁・兄川集落に古くから伝わる市指定無形民俗文化財の先祓いを披露。勇壮な舞でみこしを先導し、集落内を練り歩きました。=写真は、兄川先祓い=(関連記事は10頁)

●主な内容

- 焼走りマラソン全国大会を開催…02
- ご存じですか？ふるさと納税…04
- 話題ピックアップ…10
- 福祉ねっとわーく…14
- 学びの窓…16
- お知らせ…18



岩鷲護神ハチマンタイラーが応援に駆け付け、ファミリーコースの選手たちを見守りながら走りました。

第17回岩手山焼走りマラソン全国大会

初夏の岩手山ろくで 健脚を競う！

北は青森から南は熊本まで、全国から1,292人のランナーが集い、緑輝く岩手山ろくを風のように駆け抜けました。

た。ゴール後は、市民が取れたてのキュウリやトマト、豚汁などを振る舞い、選手をねぎらいました。選手たちは互いの健闘をたたえながら、次回の大会に向けて意欲を高めています。

第17回岩手山焼走りマラソン全国大会は7月27日、岩手山焼走り国際交流村付近を会場に開催されました。「共に走ろう農の大地を輝き目指して」を大会スローガンに掲げ、全国から1,292人のランナーが参加。緑輝く初夏の岩手山ろくを舞台に日ごろ鍛えた健脚を競いました。当日は絶好のマラソン日和に恵まれ、選手たちは号砲が鳴るのを待ちかねながらも、入念にウォーミングアップをします。高らかに号砲が鳴り響くといよいよ競技開始です。東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)で輝かしい実績を持つ、駒沢大学陸上競技部の6人を先頭に一般10キロコースから順次スタートし、記録と自分の限界に挑みまし



中学生コースには、市内外の中学生が多数参加。学校やクラブの名譽をかけて、力走を見せます。



昨年に引き続き、前半は下り、後半に上りが待つ難コースです。一般10^{キロ}コースでは246^{キロ}、一般5.3^{キロ}で113^{キロ}、中学生3.2^{キロ}コースでも52^{キロ}に及び標高差を前に、選手たちは一様に後半の上り坂で苦戦の様子。軽やかに進む下り坂から一転して、上りに入ると足が重くなりますが、選手たちは沿道からの声援を力に換えて、ゴールを目指して走り続けました。



コース内には、給水所を3カ所設置。選手たちは各ポイントで冷たい水を補給し、のどの渇きを潤しながらゴールを目指しました。

共に走ろう みのり 農の大地を ひかり 輝を目指して



一般コース10 ^{キロ}	16~39歳男子の部	①久保田 哲也 ②目移 和行 ③菅原 康彦	花巻市 雫石町 北上市	一般コース5.3 ^{キロ}	16~39歳男子の部	①白石 龍司 ②伊藤 卓也 ③高橋 進	盛岡市 矢巾町 青森県	
	16~39歳女子の部	①中村 志保 ②児玉 由美 ③藤井 和佳子	八幡平市 北上市 花巻市		16~39歳女子の部	①河井 香月 ②水村 仁美 ③小笠原 有理	岩手町 盛岡市 滝沢村	
	40~59歳男子の部	①長根 誠 ②稲村 輝男 ③菊地 保	青森県 青森県 青森県		40~59歳男子の部	①安保 淳 ②田村 孝 ③杉沢 隆司	矢巾町 八幡平市 青森県	
	40~59歳女子の部	①伊藤 由希恵 ②小西 紀江 ③川又 ミドリ	盛岡市 青森県 八幡平市		40~59歳女子の部	①沢田 芳子 ②脇田 映子 ③小野寺 たけ子	滝沢村 花巻市 一関市	
	60歳以上男子の部	①石井 嶺雄 ②藤沢 哲雄 ③長岡 直人	陸前高田市 盛岡市 釜石市		60歳以上男子の部	①高橋 州佑 ②谷川 謙造 ③山形 勝久	奥州市 青森県 矢巾町	
	60歳以上女子の部	①池田 英美子 ②木村 紀子 ③松岡 マヨ子	青森県 宮城県 花巻市		60歳以上女子の部	①富樫 良子 ②新明 雅子 ③佐藤 捷子	秋田県 神奈川県 奥州市	
	招待選手	①太田 行紀 ②藤原 昌久 ③我妻 伸洋	駒沢大学 駒沢大学 駒沢大学		中学生男子の部	①高橋 知成 ②工藤 郁也 ③竹本 紘希	松尾 西根 黒石野	
	ファミリーの部	①八重樫光徳・光男 ②長根誠・護 ③菊地一美・智幸	花巻市 青森県 遠野市		中学生女子の部	①前野 佳那 ②小西 菜奈 ③工藤 優香	奥中山 奥中山 大館一	
	ファミリー2.3 ^{キロ}				中学生コース3.2 ^{キロ}			

ファミリーコースは、参加者2人で手をつないで同時にゴールするのがルール。達成感で笑顔が輝きます。

閉会式で入賞者に賞状とメダル、副賞を一人一人に手渡し、榮譽をたたえました。



ふるさと納税制度とは

国の税制度改正により、本年度から「ふるさと納税」制度が始まりました。ふるさと納税は、皆さんが応援したいと思う自治体への寄付金相当額が、現在住んでいる自治体の個人住民税などから控除される制度です。

遠く離れたふるさとを大切にしたい、発展のために貢献したいという皆さんの気持ちを寄付金というかたちでふるさとに贈るもので、これまでの地方自治体への寄付金控除制度から大きく拡充されました。国内で個人住民税を納めている人であれば、誰でもこの制度を利用することができます。

市へのふるさと納税は、市出身者に限らず誰からでも受け付けています。親類や友人への呼び掛けなど、市民の皆さんのお力添えをお願いいたします。

市への寄付金の使い道

市は、「農と輝の大地」岩手山・八幡平・安比高原の恵みに満ちた、交流新拠点都市をめざして「を将来像に掲

「みのり ひかり農と輝の大地」への思いをかたちに――

ご存じですか ふるさと納税

市の応援団を募集しています

げてまちづくりを進めています。まちづくりしていくうえで市は、皆さんが納めた税金の使い道を明らかにすることを重要と考えています。

市の予算は皆さんのものであり、その内容をわかりやすく説明する情報提供の一環として、20年度の当初予算に計上した市の仕事や財政状況をわかりやすく説明することの予算の「使いみち」を6月19日に発行し、市内全世帯に配布しました。この冊子では、法律で定める通常の予算書では伝わらない、予算の具体的な内容を写真や図表を活用しながら作成しています。

ふるさと納税をご検討する皆さんも、この説明書をご覧になって市の「農と輝の大地」づくりの取り組みをご確認ください。市役所、各総合支所などで配布しているほか、ホームページにも掲載しています。



市内の全世帯に配布した20年度版「ことしの予算の使いみち」

ふるさと納税の申込方法

八幡平市へのふるさと納税を希望する人は、次のとおり手続きをしてください。

1 寄付申出書の提出

郵便、ファックス、電子メールのいずれかの方法で、市企画総務部税務課へ寄付申出書を提出してください。用紙は市企画総務部税務課に備えてあるほか、市ホームページにも掲載しています。

2 払い込み方法

①納付書による振り込み
寄付申出書を受領した後、市企画総務部税務課から郵便振替用紙を郵送しますので、全国のゆうちょ銀行・郵便局から払い込んでください（手数料は無料です）。

②現金書留による送金
寄付申出書を受領した後、市企画総務部税務課から確認の連絡をしますので、その後送金してください。

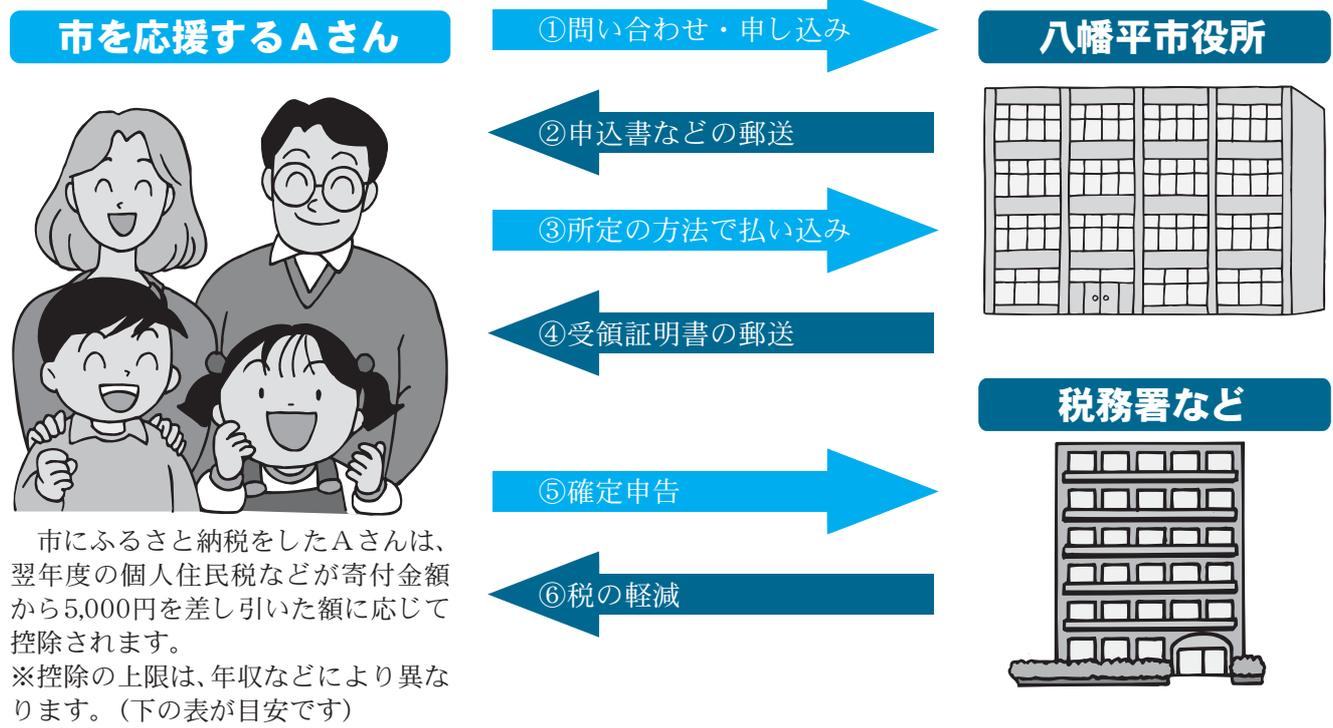
3 市役所へ持参

市企画総務部税務課窓口へ寄付申出書を提出後、納付してください。

3 受領証明書の発行

寄付金を受領した後、確定申告の時期までに寄付金の受領を証明する書類を郵送

●図解 ふるさと納税の流れ



市にふるさと納税をしたAさんは、翌年度の個人住民税などが寄付金額から5,000円を差し引いた額に応じて控除されます。
※控除の上限は、年収などにより異なります。（下の表が目安です）

給与収入額	控除額(目安)
500万円	13,000円
700万円	29,000円
1,000万円	53,000円
1,500万円	99,000円

■ふるさと納税についての問い合わせ・申込先
〒028-7192
岩手県八幡平市大更35-62
八幡平市役所企画総務部税務課
電話：76-2111(内線1240~1247)、ファクス：75-0469
メール：zeimuka@city.hachimantai.lg.jp

します。寄付金控除を受けるために必要となりますので、大切に保管してください。

特産品をお贈りします

市外に住所のある人が、市に1万円以上のふるさと納税をしていただいた場合には、ヤマブドウ製品を中心とした、市の特産品をお贈りします。

詐欺行為にはご注意ください

ふるさと納税は、皆さんの善意をかたちにするための取り組みであり、寄付を強要するものではありません。ふるさと納税を名目にした寄付の強要や不当な請求、詐欺行為には、十分に注意してください。

市は、現在のところ、市指定の振替用紙および現金書留、直接持参する以外の方法でふるさと納税を受け付けていません。金融機関の現金自動預払機(ATM)による振り込みなどをお願いすることは一切ありませんので、ご注意ください。

詳しくは、市企画総務部税務課(☎76-2111、内線1240/1247)まで。

紅葉と秋の味覚を丸ごと楽しむ

Sanzoku Matsuri

八幡平 山賊まつり

会場での出店・出展者、ステージイベントなど希望者募集します

八幡平山賊まつり(八幡平市産業まつり)実行委員会は、10月11から13の3日間、さくら公園イベント広場を会場に開催する八幡平山賊まつりの出店者とステージ発表者などを次のとおり募集します。



◎出店・出展者募集
 ■応募条件 市に所在する業者または団体で、地場産品(特産品)の製造または販売をしている人。もしくは地場産品(特産品)を使って飲食物を提供できる人。地元で製造または販売している産業製品などを展示したい人。(3日間必ず販売・展示できること)
 ■申込方法 八幡平市商工会または市産業建設部商工観光課へ申込書を提出してください。
 ■出店料 物販ブースは、3日間で1小間(間口1.5間×奥行2間)テント半分)につき1万円。いす、テーブル、物販ワゴンなどが付属します。

飲食ブースは1団体につき2万円です。展示ブースは無料ですが、販売行為はできません。
 ■申込期限 8月29日(金)必着
 ■その他 売り場スペースや商品の重複、応募者多数の場合は実行委員会にて調整します。
 ◎ステージイベントなどの参加者募集
 ■応募条件 市に所在している個人または団体で、歌や踊り、演奏、郷土芸能などをステージで発表したい人など
 ■場所 さくら公園イベント広場ステージほか
 ■申込方法 八幡平市観光協会または市産業建設部商工観光課へ申込書を提出してください。書類選考を行います。参加者へ出演依頼を送付します。
 ■申込期限 8月29日(金)必着
 ■山賊まつりについて詳しくは、市産業建設部商工観光課(☎76-2111、内線1266)、出店については市商工会(☎76-2040)、ステージ発表については市観光協会(☎78-3500)まで。

障害者手帳を持っている人のNHK受信料免除基準が変更

日本放送協会(NHK)では、障害者手帳を持っている人のNHK放送受信料の全額または半額を免除する制度を設けています。

10月から、この基準が下の表のとおり改正され、免除の対象となる人が拡大します。これに伴

い、対象となる人の免除申請を次のとおり受け付けます。

■申請方法

①地域福祉課または各総合支所に備え付けの申請用紙に必要事項を記入して、窓口へ提出してください。

②市は、免除理由に該当するか審査し、証明書をNHKに提出します。

※8月から地域福祉課、各総合支所で免除申請手続きの受け付けを行います。

詳しくは、市生活福祉部地域福祉課(☎76-2111・内線1166、1167)まで。

	全額免除(障害者手帳を持っている人が世帯員の場合)	半額免除(障害者手帳を持っている人が世帯主で契約者の場合)
身体障害者	世帯全員が市民税非課税	視覚・聴覚障害者または重度(1・2級)の身体障害者
知的障害者		重度(A判定)の知的障害者
精神障害者		重度(1級)の精神障害者

2008八幡平市

夏まつり

八幡平市の夏を彩る市夏まつりを開催します。多数の屋台や夜店などのほか、盆踊りや花火大会など、盛りだくさんの内容で皆さんの来場をお待ちしています。

■日時 8月15日(金) ※雨天の場合は16日(土)
午後5時～ オープニング・太鼓演奏・さんさ踊り・盆踊り

午後7時半～ 花火打ち上げ

■場所 松尾総合運動公園(駐車場1400台)
※当日は、会場周辺で交通規制を行いますので、係員の指示に従ってください。

詳しくは、市産業建設部商工観光課観光振興係(☎76-2111、内線1266)まで。



あっぴりレーマラソン2008出場者募集

初秋の安比高原を舞台に健脚を競う「あっぴりレーマラソン2008」の出場者を次のとおり募集します。

■日時 9月14日(日)、午前10時スタート(雨天決行)

■場所 安比高原特設コース

■競技方法 1チーム4人以上10人以内(6歳以上の男女)で、1周2 \times の周回コースをたすきでリレーし、フルマラソンを完走する競技です。走る順番や1人何周走るかは自由で、制限時間は4時間30分です。

■部門

①一般部門 男女混合チーム

②男子部門 全員が男子によるチーム

③中学生部門 全員が中学生によるチーム

④小学生部門 全員が小学生によるチーム

⑤職場部門 全員が同一職場によるチーム

⑥ファミリー部門 全員が親子または親戚・血縁者によるチーム

■参加料 中学生以下1人につき800円、高校生以上1人につき1,200円(保険料・消費税込み)

■募集数 250チーム

■申込方法 次のいずれかの方法で申し込んでください。

①申込用紙と参加料を現金書留で郵送

②申込用紙を郵送し、参加料は郵便振り込み

③ホームページから申し込み、参加料は振り込み

▷申込先 〒020-8650 盛岡市内丸2-10
テレビ岩手販促事業部内あっぴりレーマラソン大会実行委員会事務局

▷郵便振込先 02220-2-40493

「あっぴりレーマラソン大会実行委員会事務局」(振込用紙記入の際は、40493の前を2マス空けて記入してください)

■申込期限 8月27日(水)(必着) 定員になり次第締め切ります。

詳しくは、あっぴりレーマラソン実行委員会事務局(☎019-624-1188)まで。



東日本実業団相撲大会

三研ソイル相撲部が活躍見せる

第46回東日本実業団相撲選手権大会は7月6日、東京都の靖国神社で開かれ、市から出場した三研ソイル株式会社の相撲部が団体1部で3位入賞の榮譽に輝きました。

個人戦においても、個人無差別級で富田貴男さんが並み居る強豪を破る活躍を見せ、見事3位入賞。同じく無差別級に出場した森隆宣さんが敢闘賞を受賞しました。



大活躍を見せた三研ソイル相撲部の皆さん

長年の更生保護活動へ知事表彰

更生援護功労者表彰



更生援護功労者表彰を受賞した長根さん

第51回岩手県身体障がい者福祉大会は7月18日、一関文化センターで開かれ、障害がある人の更生援護活動に功労のあつた人などを表彰しました。

市からは、身体障害者相談員などを歴任した、長根新一郎さん(平舘)の長年にわたる功績が高く評価され、知事から更生援護功労者表彰を受賞しました。

県大会で市選手が実力を発揮

県中学校総合体育大会

第55回岩手県中学校総合体育大会は7月19から21までの3日間、各会場で開催されました。市内中学校から多数の種目に出場し、大いに活躍を見せました。それぞれの競技で3位以内に入賞した個人、団体は次のとおりです。(敬称略)

- 陸上
 - ◇男子▽共通3000m①高橋知成(松尾)▽2・3年1500m③工藤郁也(西根)▽1年砲丸投げ③斎藤雅史(安代)
 - ◇女子▽四種競技①早坂望美(西根)
- 相撲
 - ◇男子団体▽1学年決勝リーグ①西根第一▽最強の部決勝リーグ③安代
 - ◇男子個人▽3年決勝リーグ②藤川梓之介(西根)▽全国大会代表決定トーナメント③藤川梓之介

岩手県民体育大会

第60回岩手県民体育大会は

県内の各会場で開催されました。それぞれの競技で3位以内に入賞した市選手団の個人・団体成績は次のとおりです。(敬称略)

- 軟式野球
 - ◇成年男子③サンデース
- 山岳
 - ◇成年男子▽リード③翌檜山岳会A
- ライフル射撃
 - ◇成年男子▽スモールボア3姿勢①小船清孝(清水)▽スモールボアライフル男子伏射③小船清悦(清水)▽エアライフル男子伏射③工藤輝樹(姥)

松尾地区を担当する人権擁護委員委嘱

国民の基本的な人権を守ることを使命とする人権擁護委員として高橋悦子さん(野駄・再任)、伊藤政子さん(松尾寄木・新任)へ7月1日、法務大臣から委嘱状が交付されました。

任期は3年で、人権思想の普及啓発や民間における人権擁護活動、人権を侵された人の適切な救済などに取り組みます。

子石)

- ◇成年女子▽スモールボア3姿勢①中村由美子(荒屋新町)▽スモールボアライフル女子伏射①中村由美子▽エアライフル女子立射①中村由美子▽ビームライフル女子ちゅう射②高橋沙織(大更)③工藤みどり(姥子石)▽ビームライフル女子立射①高橋沙織
- ◇団体男女総合▽市の部①八幡平市
- 相撲
 - ◇団体▽決勝トーナメント①八幡平市A
 - ◇個人▽決勝リーグ③泉山雅行(大更)
- アーチェリー
 - ◇成年女子▽ターゲットトリカブ①岩渕道子(松尾寄木)



伊藤政子さん(松尾寄木)



高橋悦子さん(野駄)

市畜産共進会

優良な牛を一堂に集めて体形や発育状況などを競う、第3回市畜産共進会は7月10、11の両日、全農いわて北岩手家畜市場と市畜産共進会場で行われました。

金賞以上の入賞者は次のと

おりです。(敬称略)

■ホルスタイン種(7月11日)
▽名誉賞Ⅱ未経産牛の部・畠山秀満(大更)、経産牛の部・田村勝(帷子)▽金賞Ⅱベビーの部・渡辺渡(大更)、第1部・畠山秀満、第2部・渡辺渡、第

3部・渡辺渡、第4部・高橋雄司(野駄)、第5部・田村勝、第6部・金沢晶介(下モ川原)、第7部・畠山秀満

■黒毛和種(7月11日)

▽名誉賞Ⅱ未経産牛の部・佐々木久三(大更)、経産牛の部・遠藤貢(田頭)▽金賞Ⅱ第8部・鈴木圭一(大更)、第9部・佐々木和男(松尾)、第10部・佐々木久三、第11部・工藤進(田頭)、第12部・佐々木誠造(松尾)、第13部・佐々木芳子(大更)、第14部・遠藤貢(田頭)、第15部・高橋勝見(平笠)、伊藤重美(平笠)、遠藤貢

■日本短角種(7月10日)

▽名誉賞Ⅱ林本佐市(作平)▽金賞Ⅱ第16部・槻沢孝彦(荒屋新町)、第17部・山本与右衛門(荒木田)、第18部・林本佐市、第19部・田口一男(荒屋新町)、関広志(作平)、槻沢孝彦



ホルスタイン種・未経産牛の部名誉賞のレーモンデル・バツカイ・バダワスカ号



ホルスタイン種・経産牛の部名誉賞のハナ・チャンピオン・クレイタス号



黒毛和種・未経産牛の部名誉賞のなつしげかつ号



黒毛和種・経産牛の部名誉賞のやえす号



日本短角種名誉賞のすぎきん号

西根地区で公共下水道を使用している皆さんへ 下水道に固形物など異物を流さないでください

西根地区の公共下水道が供用開始され、接続が進んでいます。最近、汚水に固形物などの異物が混入する事例が多発しています。

下水道には、何でも流せるわけではありません。ゴム手袋・布・固形物などの異物、油や質の悪い汚水などを流すと、管のつまりやポンプなどの施設が故障する危険性が高まります。結果として、本来であれば必要のない維持管理経費が増えることになります。

下水道は、生活環境の改善や河川などの水質を保全するための重要な施設であり、長く大切に使う次世代へ引き継がなければならないみんなの財産です。下水道を使用する市民の皆さんは、次の注意

事項を守り、快適に下水道を利用するようお願いいたします。

下水道利用上の注意点

- 野菜くずや廃油は流さない
- まずに廃棄物を捨てない
- 水洗トイレに異物を流さない
- 下水道に危険物を入れない
- 共同住宅の排水設備は共同管理をしましょう
- 無リン洗剤を使いましょう
- 排水口には網か格子を付けましょう

詳しくは、市上下水道部下水道課(☎74-2111、内線2213)まで。

まちの ニュース

田山統一祭典で伝統の先祓いを勇壮に舞う

田山地区の各集落の神社が開催日を合わせて祭典を開く田山統一祭典は7月19、20の両日、各神社などを会場に行われました。

この祭典は、五穀豊穡や家内安全を願う田山稲荷、八幡、兄川稲荷、八坂、根渡など田山地区内にある神社でそれぞれ開催。郷土芸能の先祓いを先導に、みこし行列が集落内を練り歩きました。



華やかさの中に力強さも感じられる折壁先祓い



田山先祓いを先導に、集落内を練り歩きます

「先祓い」は、みこしの前を勇壮に踊りながら練り歩き、はらい清める「神楽」の一つです。田山、折壁、兄川集落に伝わる先祓いは、無形民俗文化財として市が指定している伝統芸能です。その装束や舞は集落ごとに異なり、地域の人たちが長年にわたって継承してきました。この先祓いを次の世代に伝えていこうと各集落の保存会が中心となり、現在も継承活動が続けられています。

先祓いの勇壮な舞を一目見ようと、演目が行われる会場には、集落内外から多くの見物人が訪れ、にぎわいを見せていました。

環状列石に込められた思いを学ぶ公開講座

未知の国(みちのく)遺産連続公開講座「岩手山麓(さんろく)の環状列石とその謎を楽しむ」は7月12日、沢口酒店などで行われました。

この講座はNPO法人風景の生命を守る地域づくりネットワーク(田村麗丘(きよかみ)代表理事)が主催。盛岡大学文学部の熊谷常正教授を講師に迎え、約50人の参加者が今なお残る環状列石を通して縄文について



↑松尾地区にある釜石環状列石や滝沢村にある湯舟沢環状列石のレプリカを視察し、縄文に思いをはせました

←熊谷教授の講演に熱心に耳を傾ける参加者たち

て理解を深めました。

同ネットワークは、八幡平市から青森市までを結ぶ東北自動車道、国道282号、国道7号のエリアを縄文街道と位置づけ、縄文から続く北東北の風景や文化を情報発信しています。

参加者は環状列石に縄文の息吹を感じながら、当時の人たちが石に込めた思いを想像していました。

焼走りの湯で入浴者100万人を達成する

平成11年7月15日に開業した岩手山焼走り国際交流村「焼走りの湯」は7月4日、入浴者100万人を達成しました。

当日は記念セレモニーが行われ、100万人目の入浴者となった伊藤信さん(平笠)や関係者がくす玉を割り、達成を祝いました。

記念セレモニーに続き、来場者には紅白のもちが振る舞われ、会場内はお祝いムード一色になりました。



100万人達成を記念し、くす玉を割りました

障害者の自立を目指すケアホームの開所式



市内初のケアホーム開所を祝う開所式

県社会福祉事業団・中山の園(二戸町)が、大更地域で運営する障害者の共同生活事業所「八幡平」川村ホームの開所式は7月9日、地域活動支援センター「ふらっと」で行われました。

川村ホームは市内初のケアホーム。木造住宅をリフォームし、食事や掃除などの支援を受けながら障害のある人が自立を目指して生活します。定員は5人で、市出身者4人が入居してスタートしました。

入院患者の皆さんを元気づけようと、県立大学の土屋陽子教授と学生などによる楽しい音楽会は7月5日、東八幡平病院で開かれました。
入院患者や地域住民など約100人が参加。土屋教授がピアノ、札幌医科大学の沢田雄二教授がチェロをそれぞれ演奏し、「ロミオとジュリエット」などおなじみの映画音楽を披露。また、学生と参加者が一緒に「夏の思い出」などを合唱しました。

楽しい音楽会で学生たちと懐メロを大合唱



入院患者の皆さんと合唱する県立大学の学生



日ごろ鍛えた力を競い合う選手(写真は第2ステージ)

2008みちのくステージレースinいわては7月11、12の両日、安比高原と八幡平温泉郷を舞台に開催されました。北海道から沖縄まで、全国から約100人の高校トップ選手が集まり、日ごろ鍛えた力を競いました。

第1ステージは安比高原で約6kmの上り坂、第2ステージは八幡平温泉郷で約80kmのレースです。海外派遣選手の選考も兼ねた大会に、大勢の市民が声援を送りました。

初夏の八幡平路を駆け抜けるロードレース

日本一のリンドウを全国へ向けて送り出す

新岩手農協(田沼征彦組合長)の安代リンドウ出発式は7月8日、JA新いわて安代出荷場で開かれました。

生産者や関係者など約200人が出席。日本一の生産量と品質を誇る安代リンドウの出荷と販売を祝いました。

出発式で田村正彦市長は、「皆さんの生産したすばらしい安代リンドウを内外に売り込みたい」とあいさつ。テープカットを行い、東京へ出荷するトラックを見送りました。



リンドウの出荷を祝うテープカット

楽しいイベントで盛り上げる地域のお祭り

白坂観音大祭は7月17日、寺田地区の聖福寺の境内を会場に開催されました。

祭りは寺田小学校の児童による鼓笛隊のパレードで幕開けです。地域で伝承される市指定無形民俗文化財の野口鹿踊が華やかに奉納。地域の子どもたちによる歌やお遊戯がかわいらしく披露されました。また、会場では泣き相撲大会が行われ、市内外から集まった力士たちが、元気な泣き声の大きさを競いました。



好取組を見せる泣き相撲の力士たち

五穀豊穡や家内安全を祈願する長嶺神社の祭典は7月12日、長者屋敷跡にある同神社の境内などで開かれました。

会場では福を呼ぶもちまきが行われ、多くの市民が詰め掛けました。場内の相撲場では、松尾地区のスポーツ少年団員などが参加して奉納相撲を開催。個人戦と団体戦が行われ、好取組を見せました。また、地域の児童たちがお遊戯や郷土芸能を披露し、会場を大いに盛り上げました。

豊作と家内安全を祈願する長嶺神社の祭典



召福もちまきに大勢の市民が詰め掛けました

いわぎん「子ども110番」運動模擬訓練は7月7日、岩手銀行安代支店で行われました。

安代小学校の4年生23人が訓練に参加。岩手銀行安代支店の山田潔支店長が「もしものときには岩ぎん子ども110番システムを役立ててください」とあいさつしました。

ATMコーナーに設置されたこのシステムにより、非常時には警備会社にコーナー内の音声と画像が送られます。

岩ぎん子ども110番システムで安全な街を



訓練に取り組む安代小学校の児童たち

市消防団33分団が支部操法大会で3位入賞

20年度県消防協会岩手地区支部消防操法競技会は7月13日、松尾総合運動公園ヘリポートで行われ、ポンプ車の部で市消防団安代地区団(33分団)が3位に入賞しました。

この大会は、市の大会を勝ち抜いたポンプ車の部、小型

ポンプの部それぞれ3つの分団と岩手郡内の4町村の代表分団が出場。消防機器の正確な操作と消火技術、スピードを競いました。

出場した分団は、いずれ劣らぬ消防技術を披露していました。



↑ポンプ車の部に出場し、3位に入賞した33分団のメンバー

→日ごろ鍛えた正確・迅速な消防技術を披露しました

FCガンジユの選手とサッカーを楽しもう



ボールの蹴り方を教わりながらのシュート練習

習ったことを生かしながらゲームを楽しみました。選手は、児童たちのプレーを一つずつ褒めながら、一緒に汗を流しました。

最後に菊池直喜監督から、児童へ同チームのステッカーをプレゼント。参加した児童たちは「サッカーを続けて、もっとうまくなりたい」と目を輝かせていました。

市をホームタウンの一つとする社会人サッカーのクラブチーム、FCガンジユ岩手のサッカー教室は7月12日、いこいの村岩手体育館で開かれました。

これは、同チームの地域貢献活動の一環として行われたもので、大更小学校に通う児童の父兄が中心となって企画。1年生から4年生までの23人が参加し、サッカーの楽しさを体験しました。

同チームに所属する三原直之、長岡祐也、西田健吾、キム・ハンビヨルの4選手が指導。

基礎練習から始まりました。ボールをよく見ることなどを教わりながらシュートを練習し、見事なゴールを連続。お待ちかねのミニゲームでは、



選手と一緒にチームでミニゲームを楽しみました

保健のひろば

心と体の健康づくりに 思春期保健教室を開催

市は、思春期にある小学校高学年から中学生の心と体の健康づくりを目的とした、思春期保健教室を行っています。内容は、タバコ、お酒など薬物乱用防止、生と性、心の健康などの講演や、岩手県立大学学生サークルによるピアカウンセリング、赤ちゃんとのふれあい体験などです。



赤ちゃんとふれあう安代中学校の生徒

7月4日に安代保健センターで安代中学校3年生の生徒が赤ちゃんとのふれあい体験を実施しました。

事前に赤ちゃん人形を使って抱っここの練習、妊婦体験シミュレーターを利用して妊婦の大変さを実感しました。その後、乳児健診で赤ちゃんを抱っこしたり遊びを通じてふれあいを深めました。

熱中症予防はこまめな水分の補給が肝心です

熱中症は暑さによって起こる症状の総称です。暑いとき、私たちの体は汗をかき、汗が蒸発する時に皮膚から熱を奪い、体温が上がり過ぎないように調節します。大量の汗をかいたまま水分を補給しないしていると、汗として放出する水分がなくなり、体内に熱がこもります。このため、血液循環が悪くなると全身の機能がまひし、生命の危険にさらされる場合もあります。

◆熱中症が起きやすい条件

- 。気温、湿度がともに高い
- 。風が弱く日差しが強い
- 。照り返しが強い
- 。急に暑くなった

◆湿度の高い屋内での活動や運動にも注意

体内に熱がこもりやすい条件がそろえば、熱中症が起こる危険はいつでもあります。気温は高くないが湿度が高い

水分補給が不足している。風通しの悪い場所や気候に合わない服装

特に体温調節がスムーズにできない乳幼児や高齢者、利尿剤などを服用している人、睡眠不足や二日酔いの人、肥満の人などは要注意です。

◆熱中症の予防

- ① 涼しい服装で、のどが渇く前からこまめに水分を補給
- ② 外出前に水分を補給し、涼しい所を歩いて直射日光を防ぐなどの注意を
- ③ 運動するときは、夜ふかしをせず、朝食をきちんと取る
- ④ 運動中は疲れたら我慢しないで休む

8月の松尾地区健康相談日程のお知らせ

■場所 松尾総合支所

■日時 8月4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、午前10時～正午

■内容 母子健康手帳の交付、身長・体重測定、乳幼児・成人健康相談

詳しくは、市生活福祉部保健課(☎76-21111、内線1144)まで。

みんなの安心を支える 介護保険のサービス②

介護サービスを利用するときは、まず申請をして、「要介護認定」を受ける必要があります。「要介護1・2」と認定された人は、介護サービスを利用することが出来ます。

◆介護サービスの利用の手順

- ① 認定結果と一緒に届く事業者一覧から「居宅介護支援事業者」を選び連絡すると、担当ケアマネジャーが決まります。
- ② ケアマネジャーは、本人や家族の要望を聞きケアプランの原案を作ります。
- ③ ケアマネジャーが連絡・調整して、利用者や家族とサービス事業者が、原案について

介護の ココロ

検討します。
④ サービスの種類、回数などを盛り込んだケアプランを作り、利用者の同意を得ます。

⑤ サービス事業者(デイサービス、ケア、ホームヘルプサービスなど)と契約します。
⑥ ケアプランに沿って介護サービスが利用できます。
(ケアプランの作成は全額が保険給付となり、自己負担はありません)

⑦ 利用したサービス費用の1割を支払います。
▽施設へ入所してサービスを利用したい人

① 入所を希望する施設へ直接申し込みます。
■「要支援1・2」の人向けサービス

① 要支援1・2と認定された人には、地域包括支援センターの職員が重要事項について説明します。同意したら契約を結びます。
② 目標を設定して、それを達成するための介護予防ケアプランを作成し、介護予防サービスを利用します。

次回は介護保険サービスの「在宅サービス」についてお知らせします。
詳しくは、市包括支援センター(☎76-21111、内線1185)まで。

環境の みらい

私たちにもできること

みんなで夏のエコ生活

7月7日から9日にかけて行われた北海道洞爺湖サミットでは、さまざまな議題について、各国の首脳が大いに議論を交わしました。中でも特に、地球温暖化などの環境問題について、世界の注目が集まりました。

省エネは、地球温暖化を防止する最も有効な手段です。私たちが普段使っている電気製品は、化石燃料などを燃やして発電した電気を使用していませんし、自動車もガソリンなどの燃料を使用して走っています。生活するうえでエネルギーを使うことは、二酸化炭素の排出量を増やすことにつながります。

現代の社会において、エネルギーを使わない生活をすることはできませんが、少しでも

も使う量を減らすことはできません。省エネルギーを心掛ける生活は、環境だけでなく、家計にもやさしいものです。

特に夏は、エアコンや扇風機など電気製品を多く使う季節です。この夏は、地球とお財布にやさしい、エコロジー生活をしてみましよう。

①冷房は効果的に

エアコンの効きすぎは、地球環境だけでなく、健康にも良くありません。部屋の温度はこまめに調整しましょう。

暖かい空気は、高い所に集まります。エアコンの冷風を上向きにすることで、室内の温度差が少なくなります。また、湿度が高いと暑く感じますので、消費電力の少ない除湿機能を活用すると効果的です。また、フィルターにほこりがたまるとエネルギー効率が悪くなりますので、定期的な清掃をしましょう。

②省エネ製品へエコ替え

電気製品を買い替える場合は、部屋の大きさや用途にあったものを選び、電気の消費量が少ない省エネ製品を導入しましょう。

③カーテンを上手に活用

窓から入ってくる熱は、暖房と同じ働きをします。カーテンやブラインドなどを利用

して、室内を暖める日差しを防ぎましょう。

④主電源を切りましょう

出掛けるときなど長時間使わないときは、主電源を切ることや、コンセントを抜くようにしましょう。

⑤シャワー

夏はシャワーの使用が多くなりますが、体を洗っているときなどは、シャワーを止めます。

⑥エコ運転でガソリン節約

自動車の車内で、エアコンを使用するとガソリンをより多く消費します。窓を開けたり、急発進、急ブレーキは避け、エコ運転を心掛けましょう。

ハチに注意しましょう

9月ごろまでの時期は、ハチの活動が活発になる時期です。刺されるなどの被害に、危険が高くなりますので、巣などに近付かないようにしましょう。特に、黒い服やにおいなどに反応しますので、注意してください。

ハチの巣の駆除については、専門の業者に依頼してください。

詳しくは、市生活福祉部市民課(☎76-2111、内線1337)まで。

食育のススメ

楽しい食事で
健康な体づくり

一般に「食育」というと、子どもたちを対象に朝食の大切さや栄養バランスなど、比較的狭い意味での「食に関する教育」を行っているように思われがちです。市の「食育」についての取り組みは、単なる料理・栄養教室だけでなく、食に対する心構えや伝統的な食文化に関する講演会や講習会なども開催しています。

6月には、安代地区公民館で「野菜も生活もイキイキ元気に！」と題してベジタブル&フルーツマイスターの小原薫さんの講演会を開催しました。

小原さんは、岩手に5人しかいない野菜ソムリエマイスターの一人で野菜と果物の美味しさや楽しさを理解し、伝えることができるスペシャリストです。

当日は、安代地区の市民31人が参加。野菜と健康の関わりについて、楽しくわかりやすい講演を聞き、食について理解を深めました。

このような、食に関する事業を公民館を中心として、本年度中に53回の開催を予定しています。地区の公民館事業へ皆さんもぜひ参加してください。

皆さんも、食について楽しく学んだり、語り合うことから、「食育」を始めてみませんか。

詳しくは、市産業建設部農林課(☎76-2111、内線1271)まで。



実演などを交えながら、食についての理解を深めました

博物館だより

安比川「水の妖精」カジカ展

分水嶺の里

昭和50年代、多くの旧安代町民から「安比川のカジカが見えなくなった」との声が役場に寄せられたことから、旧安代町は観光協会を中心に実態調査を行いました。

その結果は、当時盛んに行われていた東北自動車道や安比高原スキー場などの大型工事により、安比川へ土砂が流入したことが原因ではないかと考えられるものでした。これを受けて旧安代町は、盛岡地方振興局の「地域活性化調整費事業」の支援を受け、「分水嶺の里づくり事業」を開始。安比川を守る会（現在の八幡平市安比川清流会・伊藤重高会長）の全面的な協力を得て、秋田県の阿仁川で捕獲したカジカ約2600匹を5年間にわたり安比川に放流しました。

この努力が実ったのでしょうか、現在では安比川



安比川にすむ「水の妖精」カジカの姿を見に来てくださいの広い地域でカジカが見られるまでに回復しました。このように失われそうになった自然と水資源を熱意と情熱で守った実績があるという意味で「安比川のカジカは水の妖精」であると、当時の事業担当者が名付けました。

市博物館は、次のとおり『安比川「水の妖精」カジカ展』を開催します。安比川のカジカに、このような知られざる歴史があることを考えながら、カジカのかわいい遊泳をご鑑賞ください。

■展示期間

8月17日(日)まで、午前9時半～午後4時半

■展示場所

市博物館第一展示室・安比川の漁と道具コーナー

図書館だより

本よみがえった古書のクリニック講習会を開催

市立図書館は、県立図書館図書ボランティアの菊池悟さんを講師に迎え、本の修理講習会を開きました。

ボランティアを対象として、6月に2回にわたり講習会を開催。参加者は、傷んだ古書の本格的な修理技術を学びました。修理した本は、市立図書館に展示していますので、ぜひ一度ご覧ください。



■■■ 新着本入りました ■■■

市立図書館に、約100冊の新しい本が入りました。大人向けの実用書、教養書や小説、本年度の感想文コンクール課題図書など、新着本はすべてロビーで紹介しています。皆さんどうぞご利用ください。

読書の秋に朗読を楽しむ夕べ

市立図書館は、朗読とオカリナの調べを楽しむ朗読会を次のとおり開催します。参加希望者は当館へお申し込みください。

■日時 9月19日(金) 午後6時半～

■場所 市立図書館

■内容 市民による、教科書に掲載された作品などの朗読・七時雨オカリナクラブによるオカリナ演奏

■申込期限 9月17日(水)(電話も可)

■■■ 行事・休館日のお知らせ ■■■

▶おはなしのじかん(絵本の読み聞かせなど) 8月24日(日) 午後3時～

▶新刊子どもの本を読む会⑥ 9月6日(土) 午前10時～

▶短歌を楽しむ会⑥ 9月6日(土) 午後1時～

▶児童文学賞受賞図書展(岩手県立図書館巡回図書展) 8月8日(金)～17日(日)

▶『昭和史』を学ぶ会② 8月18日(月) 午後1時半～(昭和史を学ぶ会主催)

▶休館日 8月12日(火)、19日(火)、26日(火)
9月1日(月)、2日(火)、9日(火)

第2回市子どもフェスティバル

ゲームを通じて学ぶ思いやりと助け合いの心

異学年の友達グループで挑戦することで、協調、思いやり、助け合いの心を養ってもらおうと、市教育振興運動推進協議会(工藤嘉八会長)は7月5日、第2回市子どもフェスティバルをアリーナまつおで開催しました。

市内の各実践区から31チーム、約200人が参加。小学1年生から中学3年生までの児童生徒が、4つのゲームでチームワークを競いました。

開会式で工藤会長は「上級生が下級生を助けながら協力し合い、仲良く、楽しくゲームをしましょう」とあいさつし、いよいよゲームの始まりです。

参加者は、チームごとに「縄びん立てリレー」、「心身一体立ち」、「翼よ頼むぞ」、「キック&ダッシュ」の4種目に挑戦。ボールを使ったり、紙飛行機を飛ばすなど、さまざまな競技に、それぞれ得意なことを生かしながら力を発揮しました。

参加者は、ゲームを楽しみながら工夫を凝らし、助



的に紙飛行機を投げ入れる「翼よ頼むぞ」

言しながら力を合わせます。普段と違う、異なる学年で編成されたチームで交流しながら勝利を目指し、思いやりと助け

合いの心を学びました。

主な成績は次のとおりです。

【()内は実践区名】

- ① K S(平笠)
- ②北寄木 A(寄木)
- ③スター(平笠)



台に乗る時間を競う「心身一体立ち」

身の安全を守る防犯呼び笛を市内の1年生全員に贈ります

北岩手地区少年警察ボランティア協会西根支部(高橋さよ支部長)は7月3日、市内の小学校12校の1年生全員に防犯ホイッスル300個を贈りました。

贈呈式は田頭小学校で行われ、同協会の高橋忠一



高橋会長から防犯ホイッスルを贈呈

会長が呼び笛を手渡しました。

児童は、身の安全を守るため、気を引き締めていました。

広報クイズ No.35 8月7日号の問題

焼走りマラソンに 参加したランナー は何人でしょうか

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。

◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。また、答えのほか、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限 8月22日(金) 消印有効

◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス 75-0469 ☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp

(タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は上の二次元コードからも送信できます)

◎第34回の正解 「150個」 ◎応募者数 11人 ◎正解者数 11人

◎当選者 中村好子(大更)さん、鈴木日和(田頭)さん、古川律子(松尾)さん





社会を明るくする運動街頭啓発パレード
(7月15日、西根地区大更)



東北電力から市へ街路灯を10基寄付
(7月25日、市役所応接室)

デントコーン種子 購入に助成します

市は、20年度に作付けしたデントコーンの種子を購入した農家に、購入費用の2分の1以内の補助金を交付します。

J A新しいわて、岩手中央酪農組合から種子を購入した人は、手続きの必要はありません。それ以外から種子を購入した人は、次のとおり申請手続きをしてください。

■申請方法 市産業建設部農林課、各総合支所地域振興課に備え付けていますので、印鑑、領収書、口座番号がわかるものを持参して、申請をしてください。

■申請期間 8月29日(金)まで

※申請書の様式は、市ホームページからダウンロードできます。

手続きなど詳しくは、市産業建設部農林課畜産係(☎・内線1275)または市ホームページ(<http://www.city.hachiman-tai.lg.jp/kurashi/kokuchiann-ai/dentojosei.html>)まで。

不要になった布地や アクセサリを募集

福祉作業所そよかぜの家では、家庭で不要になった浴衣やシャツ、ネックレスやイヤリング、ブレスレットなどを募集しています。

アクセサリ類は壊れていても構いませんので、気軽に連絡してください。

詳しくは、福祉作業所そよかぜの家(☎743900)まで。

杉の子会で働く保育士 採用試験を実施します

社会福祉法人杉の子会では、10月から勤務する保育士3人を募集します。

■応募期限 8月22日(金)

■採用試験 8月31日(日)

応募方法など詳しくは、森の子保育園(☎70-1880)まで。

協働のまちづくり事業 第3次申請を受け付け

市は、20年度協働によるまちづくり事業補助金の第3次申請を次のとおり受け付けます。

■対象 地域振興協議会、自治会、町内会など

■申請方法 申請書に記入し、必要書類を添付して各総合支所地域振興課へ提出してください。

■申請期限 8月20日(水)

詳しくは、各総合支所地域振興課まで。

○西根地区 ☎・内線1122

○松尾地区 ☎・内線2108

○安代地区 ☎・内線3121

クマが目撃されています 遭遇に注意してください

4月以降、市内各地でクマが数多く目撃されています。最近のクマは、人里付近にも出没します。

農作業や山に入るときには、鈴やラジオを持ち歩くなど、クマに遭遇しないよう注意してください。

詳しくは、市産業建設部農林課農林係(☎・内線1274)まで。

よろこび おくやみ

(6月届け出分)

健やかに

山本	祐大	(男/善幸/下夕川原)
高橋	叶愛	(女/正喜/野駄)
田村	恭奈	(女/大/松尾寄木)
古谷	匠音	(男/秀樹/平館)
千葉	純也	(男/勇人/野駄)
千葉	智也	(男/勇人/野駄)
小林	晃大	(男/正幸/上の山)
立花	蒼太郎	(男/賢生/細野)
柳澤	史穂	(女/史人/大更)
遠藤	暖空	(男/稔雄/大更)
工藤	朱花	(女/良浩/大更)
伊藤	央	(男/篤/松尾寄木)
佐藤	蓮	(男/良介/松尾)

お幸せに

(高橋	健太郎/平笠
(伊藤	奈津美/平笠
(高橋	義芳/平館
(高橋	温子/大更
(小見山大礁/青森県	
(ノエル、ステファニー/野駄	
(井上 真志/大更	
(川畑 由加里/宮古市	

安らかに

安土	秋憲	73歳	大更
佐藤	マツ	90歳	下の田
遠藤	サヨ	90歳	西根寺田
蚊帳	れい子	76歳	大更
高橋	武文	73歳	堀切
高橋	マツ	90歳	平笠
坂田	敏明	80歳	大更
佐々木盛夫		76歳	野駄
高橋	松夫	71歳	松尾寄木
高橋	ミチエ	60歳	柏台
松村	豊	42歳	大更
藤川	ヒヨ	73歳	打田内
吉田	勝郎	87歳	平笠
角館	武夫	79歳	折壁
工藤	正十	75歳	平館
安保	新三	74歳	清水
工藤	和子	62歳	大更

掲載は届け出順で届け出人が希望した場合だけ行っています。(敬称略)

お知らせ Information

詳しくは各部、各機関にお問い合わせを

●八幡平市役所 76-2111

●松尾総合支所 74-2111

●安代総合支所 72-2111

ホームページアドレス

<http://www.city.hachimantai.lg.jp>

知的障害者の職業訓練 実施可能事業主を募集

市は、知的障害のある人の社会参加や就労を支援するために、一定期間の職業訓練(職場実習)を引き受けることができる事業主(職親)を募集しています。

詳しくは、市生活福祉部地域福祉課障害福祉係(☎・1166)まで。

住宅かし担保履行法 準備を始めましょう

「特定住宅^{かし}瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」が21年10月1日から施行されます。この日以降に引き渡される新築住宅の請負人や売主には、保険への加入または保証金の供託が義務付けられます。

あらかじめ準備を忘れないようにしましょう。

詳しくは、県土整備部建築住宅課(☎019-629-5933)まで。

8月サポステ盛岡 就職専門相談日程

盛岡地域若者サポートステーションでは、次のとおりキャリアコンサルタントによる専門相談を行います。

■日時 8月20日(水)、27日(水)、午前9時から午後4時まで

■内容 履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方など

詳しくは、盛岡地域若者サポートステーション(☎019-625-8460)まで。



長根新一郎さんから市へ絵画を寄付
(7月22日、市役所応接室)



西根中学校音楽部慰問活動
(7月12日、麗峰苑)

ゴトウ・シュウ氏が 企画展を開催します

ゴトウ・シュウ氏の企画展が次のとおり開催されます。

【「アツ」と「マ」展】

■日時 8月8日(金)から10日(日)、午前10時から午後7時まで(最終日は午後5時まで)

■場所 いわて県民情報交流センター「アイーナ」

【ゴトウ・シュウの世界】

■日時 8月13日(水)から10月10日(金)、午前9時から午後4時まで(毎週月・火曜日休廊)

■場所 アートステーションギャラリー(旧荒屋小学校)

どちらも入場料は無料です。詳しくは、アートステーションギャラリー(☎72-2922)まで。

一人親家庭の研修会 参加者を募集します

市社会福祉協議会では、一人親家庭の子育ての情報交換や相互の交流を目的に次のとおり研修会を開催します。

■期日 8月30日(土)

■場所 ラ・フランス温泉館(紫波町)

■対象 市内に住む一人親家庭の親子(子どもは15歳まで)

■参加料 大人1,000円、子ども300円

■定員 50人

■申込期限 8月18日(月)

詳しくは、市社会福祉協議会(☎74-4400)まで。

平成21年度採用の 管理栄養士を募集

市は、21年度採用予定の市職員採用試験を行います。

■職種(採用予定人数) 管理栄養士(1人)

■受験資格 30歳未満の人で、管理栄養士免許を持っている人

■1次試験 9月21日(日)、午前10時～

■試験会場 岩手県立大学(滝沢村)

■応募方法 市企画総務部総務課、松尾・安代の両総合支所に備え付けの用紙で申し込みください。用紙などの郵送を希望する場合は、90円切手を貼った返信用封筒を同封して、市企画総務部総務課へ請求してください。

■応募期限 8月18日(月)まで(郵送の場合は16日(土)の消印有効)

詳しくは、市企画総務部総務課(☎・内線1211)まで。

東八幡平病院では 看護師などを募集

東八幡平病院では、看護師、准看護師、看護助手を次のとおり募集します。

■募集職種 看護師、准看護師、看護助手(いずれも若干名)

■勤務体制 2交替制

■給与 東八幡平病院給与規定により支給します。

■応募方法 電話にて随時受け付けています。詳しくは、東八幡平病院(☎0195-782511)まで。

Zoom Up

人

順位はあまり意識していない
全国に通用するタイムを出すこと
それが僕の一歩の目標



高橋 知成 さん

●たかはし・ともなり 松尾中3年生。野球部・陸上部・スキー部の3つのクラブに所属し、趣味もスポーツと語る根っからのスポーツマン。スキー部部长、学校では生徒会執行部を務める。県中学校総合体育大会陸上競技男子共通3000m優勝のほか、県通信陸上競技岩手地区大会男子共通3000m優勝、県通信陸上競技大会男子共通3000m 3位入賞を果たす。「前向きな性格」と自己分析する。血液型O型のいて座。松尾奇木在住。



ト

ツプでゴールしても頭の中は悔しさでいっぱいだった。前日に行われた予選で出した9分3秒という自己ベストに10秒以上及ばない記録にうれしさはあまりなかったという。県中学校総合体育大会陸上競技男子共通3000m 0分10秒で優勝した知成さんはあくまでタイムに、記録にこだわっていた。

もともと長距離走が得意で、走ることが好きな知成さんは、野球部に所属する傍ら特設クラブの陸上部、スキー部にも所属している。陸上部は特設クラブ故に他のクラブの支障とならないよう朝授業が始まる前に練習を行う。時間は限られているが、内容の濃い練習が特設クラブのハンディキャップを埋めている。今季は特にスピード強化の練習に取り組んだという。陸上競技では、大会ごと

に設定された参加標準記録の突破が上位大会出場の鍵を握る。地区大会、県大会で優勝するだけでは、その上の大会には出場できない。今の自分に必要なのはスピード。やるべきことがはつきりと見えていた。全国中学校総合体育大会への出場も夢ではなかった。

県中総体決勝当日のスタート前も、いつもどおりを心掛けた知成さん。自然体でいることが自分の力を出せる一番の方法であることを知っているからだ。レース中は全中の参加標準記録9分2秒を切ることだけを考えていた。序盤からツプを走ってはいしたが、1000mを過ぎたあたりからペースが落ちてきているのがわかった。疲れからか足が重くなり、そのままゴール。優勝したものの、参加標準記録を切ることができず、悔しさが残る大会となった。

今後は東北通信陸上大会への出場が決まっているほか、今季の公式大会の記録から、ジュニアオリンピックの出場権にも手が届いている。どんなときでも前向きでいられるという強い気持ちを武器に、記録という自己の限界を目指し、知成さんは今日も走り続ける。